

令和5年度「総合実習」シラバス	単位数	2(1)単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第1学年 2組

1 学習の目標

農業の各分野に関する体験的な学習を通して、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	①農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけること。 ②農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ、創造的に解決する力を養う。 ③農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	「農業と環境」実教出版

3 履修に際してのアドバイス・注意事項

- ・実習を伴う授業です。日頃からの栽培学習をよく聴き、一人一人が協力し、責任の持てる行動をしましょう。
- ・実習を伴う科目なので、指定の実習服をしっかりと着用するとともに、記録簿の整理もあるため筆記用具・ファイルなども準備して授業に挑みましょう。
- ・校外学習の際には、身なりを整え学習内容を整理し参加する。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	農業生物の育成と農業生産について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する技術を身につけている。	農業生物の育成と農業生産に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	農業生物の育成と農業生産について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	

令和5年度「総合実習」シラバス	単位数	2(1)単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第2学年 2組

1 学習の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を身に付ける。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	①農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する植物バイオテクノロジーの技術を身につける。 ②農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ、創造的に解決する力を養う。 ③農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	「農業と環境」実教出版

3 履修に際してのアドバイス・注意事項

- ・コース I で学んだ植物バイオテクノロジーについて、知識、技術の確実な定着を図るため、実習を伴う授業になります。
- ・コース I で取り組む単元やプロジェクト学習と関連して授業を行う場合があります。
- ・実習が中心となる授業で、パフォーマンステストが評価対象となりますが、授業でのワークシート、レポート等の記録も評価へ反映されることを意識して下さい。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	農業生物の育成と農業生産について体系的・系統的に理解しているとともに、関連する植物バイオテクノロジーの技術を身につけている。	農業生物の育成と農業生産に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身につけている。	農業生物の育成と農業生産について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む態度を身につけている。	

令和5年度 「総合実習」 シラバス	単位数	2(1)単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第2学年 2組

1 学習の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を身に付ける。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付ける。 2. 農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 3. 農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	「野菜」実教出版

3 履修に関してのアドバイス・注意事項

- ・コース I で学んだ野菜について、知識、技術の確実な定着を図るため、実習を伴う授業になります。
- ・コース I で取り組む単元やプロジェクト学習と関連して授業を行う場合があります。
- ・実習が中心となる授業で、パフォーマンステストが評価対象となりますが、授業でのワークシート、レポート等の記録も評価へ反映されることを意識して下さい。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	施設野菜について体系的・系統的に理解するとともに、相互に関連付けられた技術を身に付けている。	施設野菜に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて創造的に解決する力を身に付けている。	課題を解決する力の向上を目指して自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	

令和5年度「総合実習」シラバス	単位数	2(1)単位
	学科・学年・学級	園芸工学科 第2学年 2組

1 学習の目標

農業の見方・考え方を働かせ、実践的、体験的な学習活動を行うことなどを通して、農業の各分野の改善を図る実践的な資質・能力を身に付ける。

2 学習到達目標等

学習の到達目標	①農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。 ②農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を養う。 ③農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。
使用教科書・副教材等	「草花」実教出版

3 履修に際してのアドバイス・注意事項

- ・コース I で学んだ草花について、知識、技術の確実な定着を図るため、実習を伴う授業になります。
- ・コース I で取り組む単元やプロジェクト学習と関連して授業を行う場合があります。
- ・実習が中心となる授業で、パフォーマンステストが評価対象となりますが、授業でのワークシート、レポート等の記録も評価へ反映されることを意識して下さい。

4 科目全体の観点別評価の基準及び評価の方法

評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	評価配分の合計
趣旨	農業を総合的に捉え体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身につけている。	農業に関する総合的な課題を発見し、農業や農業関連産業に携わる者として合理的かつ創造的に解決する力を身につけている。	農業の総合的な経営や管理につながる知識や技術が身に付くよう自ら学び、農業の振興や社会貢献に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。	

令和5年度 「総合実習」 シラバス

科目名	総合実習	区分	必履修	単位数	4(1)	対象	3年 施設野菜コース
-----	------	----	-----	-----	------	----	------------

「総合実習」の目標

農業の各分野に関する体験的な学習をとおして、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

「総合実習」とはこんな科目です

「総合実習」はコースの授業と連動した科目です。つまり科目「施設野菜」での実験・実習を補う形で進められていきます。

野菜生産における総合的な技術について体験的に学習する科目であり、企画力やコミュニケーション能力など実践的な能力と態度の育成を図ります。

「総合実習」の学習の特徴

- 1 この科目では野菜の体験的・継続的な栽培活動と、観察・実験・調査・記録などの学習活動をとおして栽培に関する基本的・体系的な知識と技術を習得します。
- 2 野菜の栽培や利用の楽しさ面白さを体験し、野菜生産に対する関心や意欲を育てていく科目です。
- 3 複数の教員によるチームティーチングで、多面的に指導を行います。
- 4 プロジェクト学習では、課題設定、計画立案、実施、反省・評価という過程をとおして、各産業への発展を図る実践力を育てます。
- 5 実験・実習はコースのメンバー全員で協力して行い、考え、話し合いをしながら自発的に活動できるよう進めていきます。

実験・実習でたいせつなこと

- 1 実験・実習をとまなう授業なので、共同作業の場面が多くなります。コースのメンバー1人1人が自発的に学習に取り組み、協力して課題解決学習に取り組めるよう心がけてください。
- 2 多くの授業で実習服が必要になります。実習服の上下と雨靴を準備し、さらに清潔な服装で臨んでください。
- 3 その日取り組む内容や、観察したことについても記録学習を行います。筆記用具も必ず持参してください。

令和5年度 「総合実習」 シラバス

科目名	総合実習	区分	必履修	単位数	3(1)	対象	3年 施設草花コース
-----	------	----	-----	-----	------	----	------------

「総合実習」の目標

農業の各分野に関する体験的な学習をとおして、総合的な技術を習得し、経営と管理についての理解を深めるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

「総合実習」とはこんな科目です

「総合実習」はコースの授業と連動した科目です。つまり科目「施設草花」での実験・実習を補う形で進められていきます。

草花生産における総合的な技術について体験的に学習する科目であり、企画力やコミュニケーション能力など実践的な能力と態度の育成を図ります。

「総合実習」の学習の特徴

- 1 この科目では草花の体験的・継続的な栽培活動と、観察・実験・調査・記録などの学習活動をとおして栽培に関する基本的・体系的な知識と技術を習得します。
- 2 草花の栽培や利用の楽しさ面白さを体験し、草花生産に対する関心や意欲を育てていく科目です。
- 3 複数の教員によるチームティーチングで、多面的に指導を行います。
- 4 プロジェクト学習では、課題設定、計画立案、実施、反省・評価という過程をとおして、各産業への発展を図る実践力を育てます。
- 5 実験・実習はコースのメンバー全員で協力して行い、考え、話し合いをしながら自発的に活動できるよう進めていきます。

実験・実習でたいせつなこと

- 1 実験・実習をとまなう授業なので、共同作業の場面が多くなります。コースのメンバー1人1人が自発的に学習に取り組み、協力して課題解決学習に取り組めるよう心がけてください。
- 2 多くの授業で実習服が必要になります。実習服の上下と雨靴を準備し、さらに清潔な服装で臨んでください。
- 3 その日取り組む内容や、観察したことについても記録学習を行います。筆記用具も必ず持参してください。

令和5年度 「総合実習」シラバス

科目名	総合実習	区分	必履修	単位数	4(1)	対象	3年 生物工学コース
-----	------	----	-----	-----	------	----	------------

「総合実習」の目標

農業の各分野に関する体験的な学習をとおして、総合的な技術を習得させ、経営と管理についての理解を深めさせるとともに、管理能力や企画力など農業の各分野の改善を図る実践的な能力と態度を育てる。

「総合実習」とはこんな科目です

「総合実習」はコースの授業と連動した科目です。
つまり科目「植物バイオテクノロジー」での実験・実習を補う形で進められていきます。
植物バイオテクノロジーにおける総合的な技術について体験的に学習する科目であり、企画力やコミュニケーション能力など実践的な能力と態度の育成を図ります。

「総合実習」の学習の特徴

- 1 この科目では観察・実験・調査・記録などの学習活動を通して、バイオテクノロジーに関する基本的・体系的な知識と技術を習得します。
- 2 植物バイオテクノロジーの先端技術に関する基礎的な知識と技術を習得し、習得した知識・技術を実践できる力を身につけます。
- 3 プロジェクト学習では、課題設定、計画立案、実施、反省・評価という過程をとおして、各産業への発展を図る実践力を育てます。
- 4 実験・実習はコースのメンバー全員で協力して行い、考え、話し合いをしながら自発的に活動できるよう進めていきます。

実験・実習でたいせつなこと

- 1 実験・実習をともなう授業なので、共同作業の場面が多くなります。コースのメンバー1人1人が自発的に学習に取り組み、協力して課題解決学習に取り組めるよう心がけてください。
- 2 多くの授業で実習服が必要になります。実習服の上下と雨靴を準備し、さらに清潔な服装で臨んでください。
- 3 その日取り組む内容や、観察したことについても記録学習を行います。筆記用具も必ず持参してください。

科目の注意事項

- ・校外学習の際には、身なりを整えて、学習内容を整理し参加する。(時間外総合実習に評価する)